

e-ビーフNEWS 北の牧場から

November 2014

冬支度

十勝平野を囲む山々 十勝連峰や日高山脈は真っ白に雪が降り、冬の使者の訪れを感じさせます。朝は氷点下まで下がり、昼間でも10℃そこそこの日が続きます。

今年の紅葉は、イチヨウの真黄、もみじの真紅、かしのコーヒー色が鮮やかでした。最後に飾るのは、カラマツの落葉です。十勝平野は基盤の目の道路沿いに防風林としてカラマツを植えてあります。それが一斉に紅葉を迎えると十勝全体が黄金色に輝きます。

畑の作業も終盤を迎え、馬鈴薯、大豆小豆菜豆、長芋が終わり、ビート(砂糖ダイコン)が収穫真っ盛りです。収穫後の何も無いこげ茶色の畑と、秋まき小麦の芽を出した青々としたコントラストが鮮やかです。間もなく来る冬将軍からの準備は、着々整っています。

私も十勝に戻り2回目の冬に入ります。秋口から寒さがこたえて、ズボン下を着、チョッキを着…あと2ヶ月で年越しです。はいいですね。多忙な時期、皆さんも体調管理に気を付け頑張ってゆきましょう。



NEWSばか読み

- ローソン成城石井買収 コンビニ、スーパーに本格進出
9/30:小売り業態の模索が続く
- 円下落110円に迫る 日米金利差拡大、貿易赤字の定着
9/30:米国に踊らされる
- 御嶽山噴火 降灰で農産物にも被害 9/30:自然災害との戦いが続く
- ゼンショー経営曲がり角 人手不足で深夜営業休止
10/1:夜中に牛丼は食べないよう
- 農水省 BSE検査来年4月から死亡牛24か月齢から48か月齢へ
10/1:緩和とリスク
- 日豪EPA来年1月から発動 牛関税の軽減
10/2:4月から冷凍物は10%下げ、様子見
- 大豆ミール輸入増加 中国鶏インフルで羽数減
10/3:国内生産も中国の手の内か
- 厚労省 ジビエに衛生ガイドライン 10/3:安全な食品政策の抜け落ち
- 北電再値上げ 農家負担増加 10/3:電気自由化を促進すべき
- ノエビア 増毛町でオーガニック化粧品の原料生産へ
10/4:企業参入で新たな一次産品
- JA全農・みずほ銀行 農産物輸出のファンド設立 10/6:JA金融の解放か
- 欧州チーズ相場下落 ロシア食糧禁輸影響
10/6:EU経済のロシア依存度高し
- イオン 有機食品PB倍増計画 10/7:ピックの差別化どこまでか

- 開発局 鮮度維持技術開発推進 アジア輸出に向けて
10/7:インフラ整備これから
- 秋田牛デビュー 飼料米給与を基準化 10/8:産地地域ブランドの確立
- 茨城県知事 常陸牛 ベトナムに売り込み 10/8:トップセールスに期待
- 東北農研 簡易型PGで牛行動分析 10/9:牛歩戦術もバレーバレー
- 飼料米 4割置き換え可能 和牛肥育でオレイン酸向上
10/9:コメ食べさせろ
- 世界景気に懸念 市場相場を揺らす原油安 10/11:車のガソリン@変わらず
- イオン 店頭@税別表示から総額表示に 10/11:うわべだけで本質変わらず
- 経産省 太陽光発電の参入凍結 買い取り制度見直し
10/12:エネルギー政策変えるな
- 鳥インフル 防疫体制 渡り鳥飛来警戒 10/13:何か違うな
- エボラ熱 世界に拡大懸念 10/15:米国が本腰入れれば解決するところ
- 日本外食産業 中国出店加速 10/18:日本型居酒屋が中国でも
- 米国農務省 14年度牛肉生産20年ぶりの過去最低見通し
10/20:国産牛@と逆転?
- 総合商社 豪州から東南アジアへ小麦輸出拡大
10/21:いざ日本はありうるのか
- ベネッセ 顧客情報漏れからDM激減 製紙メーカーに影響
10/21:桶屋も損する
- 財務省 飼料米買い取り制度価格に批判 10/21:総体で考えろ
- 国産プロイラー むね肉高値続く
10/22:安心国内加工品原料に対する要求高まる
- 訪日旅行者 9月で1000万人越し 10/23:いやに外国人が多いと思った

東京直近NEWS (10/ Sh-REPORT)

ホルス 全国的に出荷頭数が少ないことで、相場上昇が見込まれていたが予想を上回る上げ幅となった。出荷が減少する中、地方市場の減少が目立ち、東京市場に買いが入ることで予想以上の上げになったと思われる。10月に入り、例年より早めに涼しくなったことでスライス物に切替わり、鍋需要も本格化してきた。やはり、カタロース、切落し材の間合せは増加傾向も販売単価を上げている為、販売数量は減少傾向も否めない。この時期からバラの焼き材シーズンオフになるが、今期は輸入物、経産牛の不足から代替原料としてホルスの間合せは継続的。これからの需要期に向

けて、頭数の減少、枝相場の高騰が予測され、需給バランスを加味して販売実施も業界にとっては厳しい環境が続く。

経産牛 相場は相変わらず高値継続。頭数の底と相場の天井からは脱した感も依然高値には変わり無し。販売価格の継続的値上げ要請も、末端が追いつかない状況。輸入物も随時コストアップしている状況から、経産ももう一段値上げを視野に交渉継続。経産も輸入物も絶対量に不安要素あり、数量確保が課題。

活動のお知らせ

- 10/17(金) 北海道畜産公社(十勝) 北海道肉専用種枝肉共助会が開催。
日本で唯一の北海道産アンガス牛や日本短角種が24頭出展。
- 10/17(金) とかちプラザ 第11回環境循環型肉牛生産シンポジウム2014開催。110名参加。
テーマ「飼料米の利活用と肉牛生産」e-ビーフ試食懇親会開催(写真)
- 10/18(土) 足寄町ひだまりファーム(沼田代表)で現地検討会開催
- 10/30(木) 富良野文化会館 北海道肉牛研究大会 総会開催。140名参加



左先生の畜産学研究NEWS

「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う・・・年を重ねただけで人は老いない・・・」これはSamuel Ullmanの散文詩を作山宗久が訳したとなっていますが、多くの著名人・実業家が座右の銘にしたり、執務室に飾ったりしています。「臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心・・・」復刻版を読み直してみようという人は多いでしょう。紙面の都合で以下は省略します。今回も学会・研究会の内容紹介です。

1. 9.18-19. 第52回肉用研究会「京都大会」(全国和牛登録協会登録会館)

今年には肉用牛研究会の創立50周年記念大会の年に当たり、式典と記念シンポジウムおよび一般発表がありました。創立50周年記念シンポジウムは日本学術会議との共同開催で「我が国の肉用牛とともに技術改良の半世紀 ー過去～現在、そして未来へー」をテーマに祝前博明京大教授「黒毛和種の遺伝的評価と改良」、木村信照日獣大名誉教授「わが国肉用牛の飼養・栄養の変遷と期待」、田村千秋元北海道立畜試場長「肉用牛における素牛生産の課題と展望」、福島護之兵庫県立農水技総セ畜産部長「黒毛和種の道府県における取組」の各氏による招待講演がありました。私の手元のシンポジウム資料では、現研究会の前身は和牛肥育研究会であったことが判ります。毎年1回全国を巡り大会を行い、北海道でも何度か開催されています。今年33題の一般発表で脂肪交雑重視の黒毛和種に関わるものは22題です。褐毛和種や日本短角など赤身系とされるのが黒毛との比較も含み11題です。飼料用米の報告は少なく、粗米を60%まで置き換えても枝肉成績に大きな影響は見られないものの飼料費の節減を狙うには適切な飼料設計が必要のようです。一方、脂肪

交雑の品種間差を検討すると、消費者は細かな脂肪交雑を好み、脂肪交雑の細かさ指数は高知系褐毛和種>黒毛和種>熊本系褐毛和種>ホルスタイン交雑種の順となり、高知系褐毛和種の脂肪交雑は好まれやすいと思われました。

2. 10.17第11回 資源循環型肉牛生産シンポジウム2014「飼料米の利活用と肉牛生産」(とかちプラザ視聴覚室)

環り協の年間最大事業の一つである当該シンポジウムは今年も帯広で約110人の参加を得て開催されました。内容は、基調講演:「飼料米の肉牛生産における利活用」樋口幹人 農研機構畜草研主任研究員、話題提供 1: 木村正利 Aの代表「北海道の飼料米生産実例」2: 沼田正俊 足寄日だまりファーム代表「肉牛における飼料米の給餌実例」3: 斎藤早春 道総研畜試肉牛G「飼料米ととうもろこしサイレージを活用した肉牛生産技術の開発」および参加者によるパネルディスカッション、意見交換会と翌日の足寄町沼田牧場見学です。紙面の都合で簡略にしますが、飼料米には玄米と粗米があり、消化性から見て粗米はサイレージ化して粗飼料的な扱い、玄米はデンプン含量が高く、適切なタンパク源の組み合わせを考える必要があります。全国各地での試験成績からみて、飼料米の代替利用は50-60%程度と思われ、飼料米の生産は稲作農家の領域であり、昨今の米余り現象と減反政策の廃止に対応した稲作農家と畜産農家の地域を越えた耕畜連携や直播栽培、輪作としての飼料米の再評価が必要でしょう。現在はまだまだ十分に牛飼ひ農家が利用するほどの飼料米生産には至っていないようですが、トウモロコシサイレージとの組み合わせや畜産農家の飼料米の利活用も多様な潜在力があります。価格とともに稲作農家との連携が喫緊の課題です。

道総研 畜産試験場NEWS

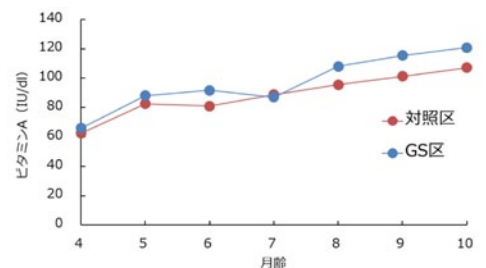


良質乾草とGSで比較

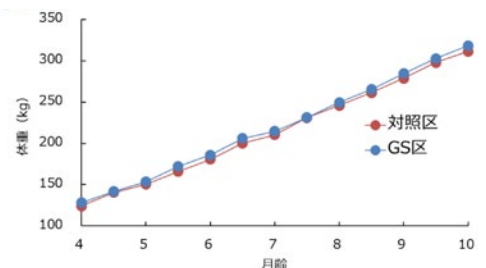
勝早桜5を試験につかった

	乾草	GS	配合	庄へんコーン
DM (%)	83.5	18.8	85.5	85.8
CP (%DM)	11.9	13.7	21.8	8.8
NDF (%DM)	70.4	65.2	26.0	15.6
TDN (%DM)	62.6	69.3	77.0	80.0
βカロテン(mg/kg)	0.7	182.8	13.7	5.0

血中ビタミンA



体重



枝肉成績

①

処理	牛番号	父	出荷月齢	出荷体重	等級	枝肉重量	ロース芯	ばら厚	皮下脂肪	歩留り	BMS	BCS	光沢	締め	BFS	光沢と質	
対照区	403Z	第7茂米	28.2	706	A3	434	57	7.3	1.7	74.7	4	4	3	3	3	5	
	405Z	勝早桜5	28.1	886	A4	565	60	8.8	2.5	73.8	7	4	4	4	4	3	5
	407Z	勝早桜5	28.1	754	A4	474	65	8.6	2.3	75.6	5	4	4	4	4	3	5
	416Z	勝早桜5	28.1	672	A4	431	66	8.5	2.3	76.2	6	4	4	4	4	3	5
	420Z	勝早桜5	28.0	788	A4	508	75	7.8	2.7	75.6	6	3	4	4	4	3	5
	423Z	勝早桜5	28.0	772	A4	498	64	8.2	2.3	74.9	6	4	4	4	4	3	5
424Z	松米糖39	27.9	796	A2	503	56	7.6	2.8	73	3	4	2	2	3	3	5	
GS区	408Z	勝早桜5	28.1	794	A3	505	63	8.6	3.8	73.6	5	4	3	3	4	3	5
	409Z	勝早桜5	27.3	904	A4	587	64	8.7	3.5	73.1	7	4	3	4	4	3	5
	412Z	松米糖39	28.0	766	A2	464	53	8.2	1.7	74.5	4	4	2	2	3	3	5
	415Z	勝早桜5	28.1	714	A4	445	63	8.5	3.3	74.7	8	4	4	4	4	3	5
	418Z	第7茂米	28.0	750	A3	466	59	7.3	2.2	74.2	5	4	3	3	4	3	5
	422Z	勝早桜5	28.0	784	A4	482	67	8.2	3.8	74.2	7	4	4	4	4	3	5
426Z	松米糖39	27.8	696	A4	435	54	6.3	1.8	73.6	6	4	4	4	4	3	5	

枝肉成績

②

処理	出荷月齢	出荷体重	枝肉重量	ロース芯	ばら厚	皮下脂肪	歩留り	BMS	BCS	光沢	締め	BFS	光沢と質	
対照区	28.1	768	488	63.3	8.1	2.4	74.8	5.3	3.9	3.6	3.6	3.7	3.0	5.0
GS区	27.9	773	483	60.4	8.0	2.9	74.0	6.0	4.0	3.3	3.4	3.9	3.0	5.0

乾物摂取量

